

年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース	総合技術科	学年・年次	1年次
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	楠 政諭			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代の国語		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	④②⑤③⑨⑩	面接時数	全実施時間数 138時間(2クラス分) 標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績60点・平常点40点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	7	・授業を受けるにあたってのガイダンス ・社会と関わる『鍋洗いの日々』(村上信夫) →作者の経験を基にした随想を読み、夢を掴むために必要なこととは何か？作品を通じて学ぶ。	1	④	5月30日	前期 中間	
5	16	・他者に出会う『未来をつくる想像力』(石田英敬) →作品を通じて、今身近にあるメディアとの付き合い方について広く学ぶ。評論文の読み方についても、作品を通じて理解する。	2	②	6月30日		
6	13						
7	12	・世界とつながる『りんごのほっぺ』(渡辺美佐子) →作者の実体験について、作品を通じて知ると共に、戦争がもたらした悲惨さについて理解する。	3	⑤	8月30日	前期 期末	
8	8						
9	12	・視野を広げる『スキマが育む都市の緑と生命のつながり』(塚谷裕一) →これまであまり意識をしなかった『スキマ植物』に関して学び、作者の主張や意見について理解する。文章量がある程度多い作品に触れると同時に、一つ一つの内容についても細かく理解する。	4	③	11月30日	後期 中間	
10	19	・憧れの職業について調べ、整理してまとめよう →これまで学んだ現代文の知識を活かしつつ、憧れの職業について調べ、それについてまとめる。	5	⑨	12月15日		
11	16						
12	5	・新聞記事を読んで意見文を書こう →新聞記事を読み、それに対する自分の意見や考えについてまとめる。	6	⑩	1月30日	学年末 試験	※学年 末試験についてはこれまでの内容も踏まえて出題する。
1	12						
2	13	・進路に関わる漢字、語句、慣用句について学ぶ。 →プリント(漢字検定対策など)を配布して、後々の将来に活かせるよう、学習する。					
3	5						

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース	総合技術科	学年・年次	2年次
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	楠 政諭			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代の国語		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①⑥⑦⑩⑪⑫	面接時数	全実施時間数 67時間 標準面接時数 2時間		
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績60点・平常点40点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						

指導目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	・自己を見つめる『こそめスープ』(村田沙耶香) → 作者の「勘違い」をふまえ、読者に伝えたいことを作品を通じて理解する。					
5	7	・自己を見つめる『ルリボシカミキリの青』(福岡伸一) → 幼少期に興味をもったものやきっかけにより、そこから将来が拓けていくことなどを作品を通じて触れる。	①	①	5月30日	前期 中間	
6	8	・未来に目を向ける『真の自立とは』(鷲田清一) → 作者の主張を理解すると共に、主題である「自立」とはどういったものなのか、考察する。					
7	5	・集めた情報の内容を検討して意見文を書く。 → これまで学んだ現代文の知識を活かしつつ、テーマに基づいた意見文を書けるようにする。	②③	⑥⑦	⑥→7月10日 ⑦→8月31日	前期 期末	
8	3						
9	6	・他者に会う『水の東西』(山崎正和) → 東西の水にまつわる文化の違いに触れ、知見を深める。				後期 中間	
10	7	・新聞記事を読んで意見文を書く → 新聞記事を読む習慣が少なくなりつつある中で、実際に記事を読みそれに対して意見をしっかりと書くことができるよう努める。	④	⑩	10月30日		
11	7	・原稿用紙の使い方 → 正しい原稿用紙の使い方を理解し、今後活かせるようにする。	⑤	⑪	11月30日		
12	4						
1	5	・手紙・メールの書き方 → 正しい手紙の書き方やメールの書き方について理解を深める。	⑥	⑫	1月15日	学年末	
2	6	・進路に関わる漢字、語句、慣用句について学ぶ。 → プリント(漢字検定対策など)を配布して、後々の将来に活かせるよう、学習する。					
3	3						

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校			学科	普通科	コース	総合技術科	学年・年次	3年次	
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者				
国語	言語文化		2	2		楠 政諭				
教科書名			出版社	学習書		学習期間				
新編言語文化			東京書籍			通年				
レポートの種類	一般レポート （報告課題集）		選択レポート	①②④⑥⑧⑩		面接時数	全実施時間数 111時間(2クラス) 標準面接時数 2時間			
定期試験	(年間)・学期 4回		評定算出方法	試験成績60点・平常点40点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。						
定期試験の評価割合	60%									
指導目標										
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を										
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考
						回数	選択番号	提出日		
4	9	・授業を受けるにあたってのガイダンス ・小説1 触れ合う心『とんかつ』 三浦哲郎 →登場人物である2人の親子の旅の目的と心情の変化を追いながら、内容の理解に努める。				①	①	5月30日	前期 中間	
5	15									
6	16	・詩歌 命をうたう 柳あをめる【短歌】 →短歌の読み方や句切れなどについて学び、作品に触れながら作者が作品に込めた思いについても理解できるようにする。 ・詩歌 命をうたう 雪の深さを【俳句】 →俳句の読み方を学び、短歌同様、作品に触れながら作者が作品に込めた思いについても理解できるようにする。				②	②	7月3日	前期 期末	
7	10									
8	6	・詩歌 命をうたう 冬が来た →詩の中に用いられる表現技法についても理解しながら、内容の理解に努める。				③	④	9月4日		
9	11	・小説2 葛藤する心『羅生門』 芥川龍之介 →登場人物である下人の揺れ動く心情や場面の变化を追うと共に、作品の内容の理解に努める。				④	⑥	10月30日	後期 中間	
10	15									
11	14	・物語 古人の生き方 伊勢物語 芥川 →古文の基礎をレポート学習を通じて先に学び、古文の世界に触れる。				⑤	⑧	11月20日	卒業 試験	
12	8					・漢文入門 漢文に親しむ 史話-三編 魏武捉刀『世説新語』 →訓読の基本について先に学び、漢文の世界に触れる。				⑥
1	7									
2	0	※2月1日(月)より家庭学習期間								
3	0									

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通	コース		学年・年次	3年
教科	科目	単位数	標準単位数		担当者		
地歴	新歴史総合	2	2		井内 則昭		
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新歴史総合 過去と対話、つなぐ未来		第一学習社	新歴史総合	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②③⑤⑨⑫		面接時数	全実施時間数 70時間 標準面接時数 2時間	
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績60点・提出物や出席点などを含めた平常点40点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
近現代を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら学習し、人類の課題をさまざまな視点から考え、調べ、明らかにすることで歴史的思考力を養う。また民主的・平和的な国家・社会を形成していく一員としての責任と行動力を身につけ、国際社会において他国・他地域と協調関係を築いていけるよう、そのための資質を養うことを目指す。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	ガイダンス「歴史を学ぶ意義」 人類の誕生 文明の成立					
5	6	第一部第2節工業化の進展と国民国家の建設 1. 砂糖入り紅茶とキャラコに魅せられて 2. 国産化が世界をつくりかえる(アメリカ独立革命・フランス革命)	1	①	5月下旬		
6	9	3. 人々の政府を自らつくる 4. 政府は国民のために 8. アメリカは内乱を経て国民統合をはたした 第3節結びつく世界と日本の開国 3. 清と日本が開港をせまられた	2	②	6月中旬		
7	5	4. 清と日本は外圧に対応した 5. 日本の国境・領土が定まった 6. 日本も立憲国家となった	3	③	7月中旬		
8	5	第二部第1節第一次世界大戦と大衆社会 1. すべてが戦争に巻き込まれた					
9	7	3. 世界は国際協調を模索した 4. 第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの 第2節経済危機と第二次世界大戦	4	⑤	9月中旬		
10	5	1. 恐慌の嵐が吹き荒れる 3. 日本と中国の対立が深まった 4. 世界は戦争の道を歩みはじめた	5	⑨	10月中旬		
11	8	5. ふたたび世界戦争がはじまった 6. 戦争が終わった 第3節第二次世界大戦後の世界と日本	6	⑫	11月下旬		
12	5	1. 新しい世界秩序が築かれた 2. 日本は連合国に占領された					
1	5	3. 冷戦の影響は東アジアにもおよんだ 時事問題					
2							
3							

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通	コース		学年・年次	2年
教科	科目	単位数	標準単位数		担当者		
地歴	新地理総合	2	2		井内 則昭		
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
地理総合		帝国書院	新地理総合	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①④⑧⑩⑪⑫		面接時数	全実施時間数 70時間 標準面接時数 2時間	
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績60点・提出物や出席点などを含めた平常点40点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	地図帳の利用 時差の計算 さまざまな図法					
5	6	国家の領域 領土問題 国家の結びつき	1	①	5月下旬		
6	9	自然環境と社会環境(ケッペンの気候区分) 熱帯気候 乾燥帯気候 温帯気候	2	④	6月下旬		
7	5	亜寒帯気候 寒帯気候 ◆イスラームと人々の生活の関わり(中央アジア・西アジア・北アフガニスタン)					
8	5	イスラームを中心とした生活文化 他 ◆ヒンドゥー教と人々の生活の関わり(インド)	3	⑧	8月中旬		
9	7	インドの歩みとヒンドゥー教 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活 他 ◆国家体制の変化と人々の生活の関わり(ロシア)					
10	5	国家体制の変化が人々の生活に与えた影響 他 (イスラエルガザ侵攻 ウクライナ戦争について)					
11	8	◆産業力が世界の生活文化に与える影響(アメリカ合衆国) 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源 世界の食卓に英影響を与える農業	4	⑩	11月下旬		
12	5	◆経済成長による人々の生活の変化(東アジア) 東アジアの経済成長とその歩み	5	⑪	12月中旬		
1	6	経済成長による中国の生活の変化 経済成長による韓国の生活の変化					
2	6	◆地域統合が人々の生活や産業に与える影響(ヨーロッパ) EU統合と人々の生活 EU統合による農業への影響 他	6	⑫	2月上旬		
3	3	◆地球的課題と国際協力 資源・エネルギー問題(原子力)					

2026年度 年間教育計画

所 属	札幌科学技術専門学校	学 科	普通	コ ー ス		学年・年次	1年
教 科	科 目	単 位 数	標準単位数		担当者		
公 民	公 共	2	2		井内 則昭		
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
公 共		東京書籍	公 共	通 年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑤⑥⑧⑩⑪⑫		面接時数	全実施時間数 70時間	
	報告課題集					標準面接時数 2時間	
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績60点・提出物や出席点などを含めた平常点40点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						
指導目標							
人間と社会の在り方についての見方、考え方を働かせ、現代の諸課題について多面的・多角的に考察し、国際社会に主体的・平和的に生きる力を養う。							
①倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。							
②現代の諸問題について、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。							
③社会に生きる大人としての自覚や、公共的な空間に生き日本の将来を担う公民としての自覚を深める。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	ガイダンス「公共」とは 民主主義と立憲主義 日本国憲法					
5	6	国民主権 平和主義 基本的人権(平等権・自由権・社会権)	1	⑤	5月下旬		
6	9	基本的人権(新しい人権) 国民の義務と責任 三権分立 国会のしくみ	2	⑥	6月下旬		
7	5	内閣のしくみ 世界の政治体制 司法のしくみ	3	⑧	7月中旬		
8	5	裁判員制度 経済の意義	4	⑩	8月下旬		
9	7	市場経済のしくみ 需要と供給と価格の成り立ち 資本主義の歴史	5	⑪	9月下旬		
10	5	国民所得と経済成長 景気の変動 戦後日本経済の動き					
11	8	市場経済における金融の働き 金融のしくみ 中央銀行の役割					
12	5	財政の働き 財政の課題	6	⑫	12月中旬		
1	6	社会保障の考え方 日本の平和主義と冷戦					
2	6	戦後国際政治の働き 冷戦後の世界と日本 国際平和の課題					
3	3	今年度の国際状況と課題					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース		学年・年次	1年
教科	科目	単位数	標準単位数		担当者		
数学	数学Ⅰ	2	3		前田 祥汰		
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学Ⅰ Standard		東京書籍	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②④⑤⑥⑦	面接時数	全実施時間数 65 時間 標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	試験成績7割＋平常点3割の計100点満点で算出する。 単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせつつ数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。
 ①数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 ②命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
 ③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	1章 数と式 / 1節 式の計算 / 1 展開 中学校の復習【分数を含む計算 / 正負の数の計算(加減)】				→ 前期中間試験 ←	
5	6	1章 数と式 / 1節 式の計算 / 1 展開 中学校の復習【正負の数の計算(乗除) / 文字式の計算 / 1次方程式】					
6	8	1章 数と式 / 1節 式の計算 / 2 因数分解 中学校の復習【1次関数 / 連立方程式 / 図形の性質】	1	①	6月末日		前期中間試験 6/9～12
7	5	1章 数と式 / 2節 実数 / 1 実数 中学校の復習【論理的応用問題】	2	②	7月末日	→ 前期期末試験 ←	
8	3	1章 数と式 / 2節 実数 / 2 根号を含む計算 中学校の復習【方程式の応用問題】	3	④	8月末日		
9	5	1章 数と式 / 3節 1次不等式 / 1 不等式と1次不等式 中学校の復習【関数の応用問題】					前期期末試験 9/8～11
10	8	1章 数と式 / 3節 1次不等式 / 1 不等式と1次不等式 中学校の復習【平面図形】	4	⑤	10月末日	→ 後期中間試験 ←	
11	7	1章 数と式 / 3節 1次不等式 / 2 不等式の応用 中学校の復習【空間図形】	5	⑥	11月末日		
12	4	2章 集合と論証 / 1節 集合 / 1 集合 中学校の復習【資料の整理】					後期中間試験 12/1～4
1	5	2章 集合と論証 / 2節 命題と論証 / 1 命題と条件 数学 I の発展問題【3次式の乗法公式】	6	⑦	1月末日	→ 学年末試験 ←	
2	6	2章 集合と論証 / 2節 命題と論証 / 2 論証 数学 I の発展問題【3次式の因数分解】					学年末試験 2/8～12
3	4	1年間の復習 数学 I の発展問題【二重根号】					

2026年度 年間教育計画

所 属	札幌科学技術専門学校	学 科	普通科	コ ー ス		学年・年次	2年
教 科	科 目	単 位 数	標準単位数		担 当 者		
数 学	数 学 I	2	3		前 田 祥 汰		
教科書名		出 版 社	学 習 書		学 習 期 間		
数学 I Standard		東京書籍	なし		通 年		
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	⑨ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭ ⑮		面接時数	全実施時間数 63 時間 標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	試験成績7割＋平常点3割の計100点満点で算出する。 単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせつつ数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。

①二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。特に二次関数のグラフの特徴について理解したり、二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすることができるようにする。

②三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。特に三角比においては、鋭角の三角比の意味と相互関係について理解したり、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	3章 2次関数 / 1節 2次関数とそのグラフ / 1 2次関数				→ 前期中間試験 ←	
5	6	3章 2次関数 / 1節 2次関数とそのグラフ / 1 2次関数		⑨	5月末日		
6	10	3章 2次関数 / 1節 2次関数とそのグラフ / 2 2次関数の最大・最小	1				前期中間試験 6/9～12
7	4	3章 2次関数 / 1節 2次関数とそのグラフ / 2 2次関数の最大・最小 3章 2次関数 / 1節 2次関数とそのグラフ / 3 2次関数の決定	2	⑩	7月末日	→ 前期期末試験 ←	
8	3	3章 2次関数 / 2節 2次方程式と2次不等式 / 1 2次関数のグラフとx軸の共有点 3章 2次関数 / 2節 2次方程式と2次不等式 / 2 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数	3				
9	5	3章 2次関数 / 2節 2次方程式と2次不等式 / 3 2次不等式		⑪	9月末日		前期期末試験 9/8～11
10	5	4章 図形と計量 / 1節 鋭角の三角比 / 1 直角三角形と三角比	4	⑬	10月末日	→ 後期中間試験 ←	
11	7	4章 図形と計量 / 1節 鋭角の三角比 / 2 三角比の相互関係	5	⑭	11月末日		
12	5	4章 図形と計量 / 2節 三角比の拡張 / 1 三角比と座標 4章 図形と計量 / 2節 三角比の拡張 / 2 三角比の性質					後期中間試験 12/1～4
1	4	4章 図形と計量 / 3節 三角比への応用 / 1 正弦定理・余弦定理・面積の公式	6	⑮	1月末日	→ 学年末試験 ←	
2	6	4章 図形と計量 / 3節 三角比への応用 / 1 正弦定理・余弦定理・面積の公式					学年末試験 2/8～12
3	2	1年間の総復習					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース		学年・年次	3年
教科	科目	単位数	標準単位数		担当者		
数学	数学A	2	3		大野 耕司		
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
数学A Standard		東京書籍	なし	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②③④⑤⑥		面接時数	全実施時間数 52時間 標準面接時数 2時間	
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績7割＋平常点3割の計100点満点で算出する。 単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり養うことを目指す。

①図形の性質、場合の数と確立についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に着けるようにする。

②図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動とのかかわりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。

③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	資料 集合／1節 集合				↑ 6/9～12 前期中間試験 ↓	
5	6	1章 場合の数と確率／1節 集合と場合の数／1 数え上げの原則と集合の要素の個数	1	①	5月中旬		
6	8	1章 場合の数と確率／1節 集合と場合の数／2 順列	2	②	6月中旬		
7	5	1章 場合の数と確率／1節 集合と場合の数／3 組合せ	3	③	7月中旬	↑ 9/8～11 前期末試験 ↓	
8	3	1章 場合の数と確率／2節 確率とその基本性質／1 事象と確率	4	④	8月下旬		
9	5	1章 場合の数と確率／2節 確率とその基本性質／2 確率の基本性質	5	⑤	9月下旬	↑ 12/1～4 後期中間試験 ↓	
10	6	1章 場合の数と確率／3節 いろいろな確率／1 独立な試行の確率					
11	7	1章 場合の数と確率／3節 いろいろな確率／2 反復試行の確率					
12	4	1章 場合の数と確率／3節 いろいろな確率／3 条件付き確率	6	⑥	12月初旬		
1	4	1章 場合の数と確率／3節 いろいろな確率／4 期待値	3			↑ 1/26～ 29 卒業試験 ↓	
2							
3							

2026年度 年間教育計画

所 属	札幌科学技術専門学校	学 科	総合技術科	コ ー ス		学 年・年 次	1
教 科	科 目	単 位 数	標準単位数	担 当 者			
理 科	科学と人間生活	2	2	渡辺知子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
科学と人間生活		第一学習社		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②③⑦⑧⑨	面接時数	全実施時間数60時間 標準面接時数8時間		
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標

自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。①自然と人間生活の関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについての理解を深める。②観察、実験などを行い、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。③自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	第一章 物質の科学 第一節 材料とその利用 プラスチック	1	①	5月	↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓	
5	7	金属 資源	2	②	5月		
			3	③	5月		
6	7	第二節 衣類と食品 繊維 栄養					
7	5	第二節 生命の科学 第一節 ヒトの生命現象 タンパク質 血糖	4	⑦	7月		
8	4	病原体	5	⑧	8月		
9	5	ヒトの視覚	6	⑨	9月		
10	9	第二節 微生物とその利用 微生物					
11	7	第三章 熱や光の科学 第一節 熱の性質とその利用					
12	3	熱運動 比熱					
1	5	第二節 光の性質とその利用 光					
2	5	電磁波 第四章 地球や宇宙の科学 第二節 太陽と地球					
3	3	試験結果の検証と復習 まとめ					

2026年度 年間教育計画

所属		札幌科学技術専門学校		学科	普通	コース	総合技術		学年・年次	2年
教科		科目		単位数		標準単位数		担当者		
理科		生物基礎		2		2		山口 敏孝		
教科書名				出版社		学習書		学習期間		
新編生物基礎				第一学習社				年間		
レポートの種類		一般レポート		選択レポート		①④⑥⑨⑬⑮		面接時数	全実施時間数68時間	
		報告課題集							標準面接時数 8時間	
定期試験		年間・学期 4 回		評定算出方法		試験成績70点・提出物や出席点などを含めた平常点30点を満点とした 総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合		70%								
指導目標										
① 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解し、科学的に探求するための基本的な技能を身につけるようにする。 ② 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 ③ 生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。										

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	・ 探求的な学習の進め方。生物基礎の学習の仕方や意義について。 第1節 生物の共通性 ① 生物の共通性 ② 生物の旧通性の由来 ③ 細胞構造の共通性 第2節 生物とエネルギー					
5	7	① エネルギーと代謝 ② 代謝とATP ③ 代謝と酵素 ④ 光合成と呼吸	1	01	31日		
6	9	第1節 遺伝情報とDNA ① 染色体・DNA・遺伝子 ② DNAの構造 ③ DNAの複製 ④ DNAの分配 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成	2	04	30日	教P18～44	前期中間9日～12日
7	5	① タンパク質の構造と働き ② 遺伝子の発現とタンパク質合成の1 ③ 遺伝子の発現とタンパク質合成の2	3	06	18日		
8	4	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 ④ 細胞と遺伝子の働き					
9	6	第1節 からだの調節と情報の伝達 ① 恒常性と情報の伝達 ② 神経系 ③ 自律神経系の働き ④ ホルモン働き ⑤ 血糖濃度の調節 ⑥ 体温の調節 ⑦ 体の調節と血液 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成				教P48～72	前期期末9/8～9/11
10	6	① タンパク質の構造と働き ② 遺伝子の発現とタンパク質合成の1 ③ 遺伝子の発現とタンパク質合成の2 ④ 細胞と遺伝子の働き 第1節 からだの調節と情報の伝達	4	09	27日		
11	8	① 恒常性と情報の伝達 ② 神経系 ③ 自律神経系の働き ④ ホルモン働き ⑤ 血糖濃度の調節 ⑥ 体温の調節 ⑦ 体の調節と血液 第2節 免疫 ① 病原体からからだを守る仕組み ② 自然免疫 ③ 獲得免疫の仕組み ④ 獲得免疫の特徴 ⑤ 免疫と疾病 ⑥ 免疫と医療	5	13	24日		
12	4	第1節 植生と遷移 ① さまざまな植生 ② 植物と環境 ③ 植生の遷移と環境 ④ 植生の破壊と遷移 ⑤ 遷移とバイオーム ⑥ 日本のバイオームと気候	6	16	15日	教P76～112	後期中間12/1～12/4
1	5	第2節 生態系とその保全 ① 生態系 ② 生物どうしの関係 ③ 生物どうしの関係と種の多様性 ④ 生態系のバランスと攪乱 ⑤ 人間活動による生物の持ち込み ⑥ 生息地の破壊 ⑦ 生息地の分断化 ⑧ 生態系の保全とその意義				教P116～156	学年末2/8～2/12
2	6						
3	2						

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校高等課程	学科	総合技術科	コース		学年・年次	1年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
保健体育	保健	1	1	房崎正子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館	保健体育	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②③	面接時数	全実施時間数 A31・B35時間 標準面接時数 1 時間		
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	実技成績60点・平常点40点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						

指導目標

「現代社会と健康」では、健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について、「安全な社会生活」では、安全な社会づくり、応急手当について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。
 ①個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し、技能を習得している。
 ②個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。
 ③個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	オリエンテーション 1. 健康の考え方と成り立ち	1	①	5月末日	↓	前期中間 6/9～12
5	3	2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復					
6	5	4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復					
7	2	6. 運動と健康	2	②	7月末日	↓	前期期末 9/8～11
8	2	7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康					
9	3	9. 喫煙と健康	3	③	10月末日	↓	後期中間 12/1～4
10	4	10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康					
11	4	12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防					
12	2	14. 精神疾患からの回復				↓	学年末 2/8～12
1	2	15. 現代の感染症 16. 感染症の予防					
2	5	17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択					
3	1	19. 健康に関する環境づくり					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校		学科	総合技術	コース		学年・年次	2年
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者		
保健体育	保健		1	1		房崎 正子		
教科書名			出版社	学習書	学習期間			
(改訂版)現代高等保健体育			大修館	保健体育	通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集		選択レポート	⑥⑦⑩		面接時数	全実施時間数A32時間 B36時間 標準面接時数 1時間	
定期試験	年間・学期 3回		評定算出方法	成績60点、平常点(授業への参加姿勢、提出物、実習)40点を満点とした総合成績に基づき算出。				
定期試験の評価割合								
60%								

指導目標

「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階における健康、労働と健康について、「健康を支える環境づくり」では、環境と健康、食品と健康、保健・医療サービスおよび医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。

①個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解している。

②個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決を目指して適切な方法や解決方法を考え、表現している。

③個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	2	オリエンテーション	1	⑥	5月末日	↑	前期中間 6/9～12
		4.応急手当の意義とその基本					
5	4	5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法					
6	4	1.ライフステージと健康	2	⑦	10月末日	↑	前期期末 9/8～11
7	3	2.思春期と健康					
8	2	3.性意識と性行動の選択					
9	4	4.妊娠・出産と健康 5.妊娠法と人工避妊中絶					
10	4	6.結婚生活と健康 7.中高年期と健康					
11	4	8.働くことと健康 9.労働災害と健康	3	⑩	2月上旬	↑	後期中間 12/1～4 学年末 2/8～12
12	2	10.健康的な職業生活					
1	3	5.食品の安全性					
2	4	6.食品衛生にかかわる活動 1.大気汚染と健康 2.水質汚濁・土壌汚染と健康	3	⑩	2月上旬	↑	
3	1	3.環境と健康にかかわる対策					

2026年度 年間教育計画

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程	学 科	総合技術科	コ ー ス		学年・年次	1 年
教 科	科 目	単 位 数	標準単位数	担 当 者			
保健体育	体 育	3	3	久保 範幸			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
現代高等保健体育		大修館	保健体育	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③	面接時数	全実施時間数	92 時間	
	報告課題集				標準面接時数	15 時間	
定期試験	年間・学期 0 回	評定算出方法	実技成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合							
指導目標							
スポーツの歴史と意義や道徳面について学び、体育を通してスポーツとは何かを学ぶ。 ①スポーツの歴史、文化的特性を学ぶとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 ③スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	10	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操	1	①	6月26日		
5	9	集団行動 ラジオ体操 バドミントン					
6	13	バドミントン					
7	5	バレーボール	2	②	9月18日		
8	7	バレーボール					
9	10	体育大会練習(バドミントン・バレー・卓球)					
10	12	体力測定 フットサル	3	③	12月11日		
11	12	バスケットボール					
12	8	バスケットボール					
1	6	器械体操(マット)					
2	9	器械体操(マット) 卓球 テニス					
3	6	卓球 テニス ユニホック					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校高等課程		学科	総合技術科	コース			学年・年次	2年
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者			
保健体育	体育		2	2		田中 寿人			
教科書名			出版社	学習書		学習期間			
現代高等保健体育			大修館	保健体育		通年			
レポートの種類	一般レポート		選択レポート	④⑤		面接時数	全実施時間数	73 時間	
	報告課題集						標準面接時数	10 時間	
定期試験	年間・学期 0 回		評定算出方法	実技成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。					
定期試験の評価割合									

指導目標

スポーツの特徴や技術の向上のためには何をすべきかを学び、体育を通してスポーツとは何かを学ぶ。

①スポーツの特徴や技能について学び、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

②運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。

③運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	7	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操	1	④	7月6日		
5	6	集団行動 ラジオ体操 バドミントン					
6	9	バドミントン					
7	3	バレーボール					
8	5	バレーボール	2	⑤	12月7日		
9	8	体育大会練習(バドミントン・バレー・卓球)					
10	8	体力測定 フットサル					
11	8	バスケットボール					
12	5	バスケットボール					
1	4	器械体操(マット)					
2	6	器械体操(マット) 卓球 テニス					
3	4	卓球 テニス ユニホック					

2026年度 年間教育計画

所属		札幌科学技術専門学校高等課程		学科	総合技術科	コース	学年・年次	3年
教科		科目		単位数	標準単位数		担当者	
保健体育		体育		2	2		田中 寿人	
教科書名				出版社	学習書	学習期間		
現代高等保健体育				大修館	保健体育	通年		
レポートの種類		一般レポート		選択レポート	⑥⑦	面接時数	全実施時間数	63 時間
		報告課題集					標準面接時数	10 時間
定期試験		年間・学期 0 回		評定算出方法	実技成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。			
定期試験の評価割合								
指導目標								
体力トレーニングやスポーツ中の安全確保、生涯スポーツについて学び、体育を通してスポーツとは何かを学ぶ。								
①体力トレーニングの特徴や効果や安全の確保、生涯スポーツについて情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。								
②運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。								
③運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考				
			回数	選択 番号	提出日						
4	8	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操	1	⑥	7月6日						
5	6	集団行動 ラジオ体操 バドミントン									
6	10	バドミントン									
7	3	バレーボール									
8	5	バレーボール	2	⑦	12月7日						
9	7	体育大会練習(バドミントン・バレー・卓球)									
10	8	体力測定 フットサル									
11	7	バスケットボール									
12	5	バスケットボール									
1	4	器械体操(マット)									
2											
3											

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース	総合技術科	学年・年次	3年次
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
美術	美術Ⅰ	2	2	根本彩			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
美術Ⅰ		光村図書		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②③④⑤⑥	面接時数	全実施時間数	52 時間	
定期試験	年間・学期 0 回	評定算出方法	レポート課題及びその他作品の内容60点・平常点40点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分にしたがって算出する。				
定期試験の評価割合			標準面接時数	8 時間			
指導目標							
造形的な表現活動を通して、美術や美術文化と豊かに関わり、創造的に表現していく資質・能力を育成することを目指す。 ①造形的な視点について理解を深めたり、必要な技能を身に付け、意図に応じた表現方法を創意工夫することができるようにする。 ②造形的なよさ・美しさなどを考えるとともに、主題や意図に合った発想・構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。 ③美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組めるようにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	・オリエンテーション、ロゴで自己紹介 【デッサン】 ・形、影、タッチ →立体的に対象を写す方法					
5	10	・手を描く 【デザイン】 ・オリジナルTシャツのデザイン →「使う人を考える」デザインについて →デザイン画の書き方	1	①	5月1日		
6	6	・ステンシル版画でオリジナルTシャツの作成 →ステンシルの手順・効果について	2	②	5月22日		
7	6	【絵画構成】 ・コラージュで建築物を作る →チラシなどの材料収集・切り抜き方・貼り方の工夫	3	③	7月10日		
8	4	【色彩】 ・四季の色彩構成 →色彩の基礎知識・線の効果について →アクリル絵の具について(混色・塗り方)					
9	6		4	④	9月18日		
10	10	【空間表現】 ・風景画 →線遠近法と空気遠近法について・透視図法の描き方 →水彩色鉛筆の使い方・効果について	5	⑤	10月30日		
11	8	【模写】 ・教科書の作品を模写する →作品や作者について知る・好きな所を具現化する・補助線の活用	6	⑥	11月27日		
12	2	【立体作品】 ・木材や石粉粘土を使い、生活に使用できる道具をつくる →アイディアの練り方・道具の使い方・素材の活かし方					
1	4						
2	0						
3	0	※2/1(月)より家庭学習期間					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校		学科	普通科	コース	総合技術	学年・年次	1年
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者		
外国語	英語コミュニケーションⅠ		2	2		清水 公久		
教科書名			出版社	学習書		学習期間		
All AboardⅠ			東京書籍			通年		
レポートの種類	一般レポート 報告課題集		選択レポート	④③④⑤④⑦④⑨⑤⑩		面接時数	全実施時間数 68 時間 標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 4 回		評定算出方法	試験成績70点・提出物や出席点などを含めた平常点30点を満点とした。 総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%							
指導目標								
Practice makes Perfectに従い、常に練習をします。教科書を使いこなす程度も練習をします。但し、学生たちに、それを意識させずに、変化を持った授業をします。1.2年生教科書巻末のWord List(p.148～165)と、不規則動詞変化表(166～167)を常に確認し、使いこなせるようにします。文法の仕組みは、東京本校のレポート全て終了後に、まとめていきます。								
英語を好き嫌いと言う意識は、消していったほしいと思います。								

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	①②③ L.1 Breakfast around the world.	1	41			
5	9	①②③④まとめ、レポート41.本仕上げ。本校に送付。 ⑤⑥⑦⑧⑨ L.2 Australia's Cute Quokkas. 4h.	1	41	5月7日		
6	7	中間試験準備学習。①②③④ 6/10～6/13中間試験 ⑤⑥⑦ L2. ...Quokkasのまとめ レポート43、本仕上げ。本校に送付。 L.3 Life with Spade	2	43	6月1日	L.1	前期中間 6/9～ 6/12
7	6	①② L.3 Life with Spade4h. ③まとめ ④⑤⑥本仕上げ。本校に送付。	3	45	7月1日		
8	4	①②③④L.4 A Miracle Mirror.	3	45			
9	6	①②③④前期期末試験の準備学習 9/9～9/12 前期期末試験 ⑤⑥ L.4 A Miracle Mirror.のまとめ。	3	45		L.2 L.3 L.4	前期期末 試験 9/8～ 9/11
10	10	① レポート47本仕上げ。本校に送付。 ②③④⑤⑥⑦⑧L.5 A Dream Engine①. 4h ⑨まとめ ⑩レポート49、本仕上げ。本校に送付。L.5 Learning from the Sea②	4	47	10月1日		
			5	49	10月15日		
11	8	①②③④L.5 A Dream Engine②. 4hまとめ ⑤⑥レポート50(最終)、本仕上げ。本校に送付。 ⑦⑧後期中間試験準備	6	50	11月2日		
12	3	①後期中間試験準備 12/2～12/5...後期中間試験 ②③ page068				L.5 49 50	後期中間 試験 12/2～ 12/5
1	6	①...ノート提出 ②page069 page072 ③ page073 ④⑤⑥...学年末準備					
2	7	①...学年末準備 2/9～2/13 学年末考査 ②③④⑤...Short Stories in English... ⑥⑦Page074, 075, 076, 大意。				page.139 page.140 page.141	学年末考 査 2/8～ 2/12
3	3	①②③ p.142, p.143, p.144					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース	総合技術	学年・年次	2年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	2	清水 公久			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All AboardⅠ		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	51 53 55 57 58 60	面接時数	全実施時間数 65 時間 標準面接時数 2 時間		
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	試験成績70点・提出物や出席点などを含めた平常点30点を満点とした。 総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
Practice makes Perfect.に従い、常に練習をします。教科書を使いこなす度も練習をします。但し、学生たちに、それを意識させずに、変化を持った授業をします。12年生教科書巻末のWord List(p.148～165)と、不規則動詞変化表(166～167)を常に確認し、使いこなせるようにします。文法の仕組みは、東京本校のレポート全て終了後に、まとめていきます。 英語を好き嫌いと言う意識は、消していったほしいと思います。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	①②③④ 4h. L.6 A Funny Picture ... the Edo Period					
5	8	①まとめ ②レポート51.本仕上げ。本校に送付。 ③④⑤⑥⑦ 4h . L.7 A Diary of Hope. ⑧まとめ	1	51	5月7日		
6	9	レポート53.本仕上げ。本校に送付。 中間試験準備学習 ① 6/10～6/13中間試験 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨4h . L.8 A Door to New Life.	2	53	6月1日	L.6 L.7	前期中間 試験 6/9～ 6/12
7	5	①まとめ ②レポート55、本仕上げ。本校に送付。 ③④⑤⑨ Fighting Plastic Pollution. (1)	3	55	7月1日		
8	3	① 4h . L.9 Fighting Plastic Pollution. (1) ②まとめ ③report 57.本仕上げ。本校に送付。	4	57	8月1日		
9	7	①②③前期期末試験の準備学習 9/9～9/12 前期期末試験 ④⑤⑥⑦ L.9 Fighting Plastic Pollution. (2)				L.8 L.9①	前期期末 試験 9/8～ 9/11
10	7	10/1(火) 4h . L.9 Fighting Plastic Pollution. (2) 10/7(月) まとめ 10/8(火) report58、本仕上げ。本校に送付。 10/15(火)、10/28(月)、10/29(火) L.10 Pigs from across the Sea.	5	58	10月1日		
11	6	①4h . L.10 Pigs from across the Sea. まとめ ③ report60、本仕上げ。本校に送付。 ④⑤⑥ 後期中間試験準備	6	60	11月2日		
12	5	①後期中間試験準備 12/2～12/5...後期中間試験 ②③④⑤ page139				L.9② L.10	後期中間 試験 12/1～ 12/4
1	5	後期ノート提出 ① page139 ② page140 ③page141 ④⑤...学年末試験準備					
2	6	①...学年末準備 2/9～2/13 学年末考査 ②③④⑤⑥...Reading 2. The Wizard of Oz. (p.132～p.138)				page.139 page.140 page.141	学年末 考査 2/8～ 2/12
3	2	①②...Reading 2. The Wizard of Oz. (p.132～p.138)					

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校		学科	普通科	コース	総合技術	学年・年次	3年
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者		
外国語	英語コミュニケーションⅡ		2	2		清水 公久		
教科書名			出版社	学習書	学習期間			
All Aboard !Ⅱ			東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集		選択レポート	01 02 03 04 05 07		面接時数	全実施時間数 55 時間 標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 4 回		評定算出方法	試験成績70点・提出物や出席点などを含めた平常点30点を満点とした。 総合成績に基づき、単位認定基準を定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%							
指導目標								
Practice makes Perfect.に従い、常に練習をします。教科書を使いこなし何度も練習をします。但し、学生たちに、それを意識させずに、変化を持った授業をします。3年生教科書巻末のWord List(p.162～185)と、不規則動詞変化表(186～187)を常に確認し、使いこなせるようにします。文法の仕組みは、東京本校のレポート全て終了後に、まとめていきます。 英語を好き嫌いと言う意識は、消していったほしいと思います。								

月	指導回数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	6	①②③④⑤⑥ 4h. L.1 A Colorful Island					
5	7	①まとめ ②report01.本仕上げ。本校に送付。 ③④⑤4h . L.2 With the Beatles. ⑥まとめ ⑦report02.本仕上げ。本校に送付。	1	01	5月7日		
			2	02	5月15日		
6	9	中間試験準備学習 ① 6/11～6/14中間試験 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨ 4h . L.3 Wild Men①.				L.1 , L.2	前期中間 6/9～ 6/12
7	5	①まとめ ② report03.本仕上げ。本校に送付。 ③④⑤ L.4 Little Hero.	3	03	6月1日		
8	3	① 4h . L.4 Little Hero. ② まとめ ③ report04.本仕上げ。本校に送付。 前期ノート提出	4	04	8月1日		
9	6	① 前期期末試験準備学習 9/10(火)～9/13(金) 前期期末試験 ②③④⑤⑥ L.5 Special Make Up in Kabuki.				L.3 , L.4	前期期末 試験 9/8～ 9/11
10	8	① 4h . L.5 Special Make Up in Kabuki. ② まとめ ③ report05.本仕上げ。本校に送付。 ④⑤⑥ 4h . L.6 Seeds for Future Generations. ⑦⑧ report07.本仕上げ。本校に送付。	5	05	10月1日		
11	6	①②③ ④⑤⑥ 後期中間テスト対策	6	07	11月1日		
12	5	12/3(火)～12/6(金)...後期中間試験 ①②③④⑤ 卒業試験準備				L.5 , L.6	後期中間 試験 12/1～ 12/4
1	5	①②③④ 4h . L.5 教科書P.160～P.161				p.160～ p.161	卒業試験 1/26～ 1/29
2	0						
3	0						

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	総合技術	コース		学年・年次	1年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
家庭	家庭基礎	2	2	房崎 正子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
家庭基礎		実教		通年			
レポートの種類	一般レポート 報告課題集	選択レポート	①②③④	面接時数	全実施時間数	74時間	
定期試験	年間・学期 4 回	評定算出方法	試験成績60点、平常点(授業への参加姿勢、提出物、実習)40点を満点とした総合成績に基づき算出。		標準面接時数	4 時間	
定期試験の評価割合	60%						

指導目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など生活を主体的に営むために必要な理解を図る技能を身につけるようにする。
- ・家庭や地域及び生活の中より問題を見出し解決策を考察するなど生活の課題を解決する能力を養う。
- ・地域社会に参画するとともに家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考			
			回数	選択 番号	提出日					
4	4	オリエンテーション 第1章 これからの人生について考えてみよう ・自分の未来予想図を描こう ・これからの人生をデザインする 第2章 自分らしい生き方と家族 ・自立と共生 ・ライフキャリア	1	①	5月末日		前期中間 6/9～12			
5	10	・共に生きる家族 ・家族に関する法律 第7章 衣生活をつくる					被服製作 (コスター) 子供のオヤツ			
6	7	・人と衣服の関り ・衣服の素材の種類と特徴								
7	6	・衣服の選択と管理まで	2	②	9月末日	前期末 9/8～11				
8	4	第3章 子どもとかかわる ・子どもとは				レンジ調理				
9	7	・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもを育む ・子どものための社会福祉					後期中間 12/1～4			
10	10	第4章 高齢者とかかわる ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る	3	③	11月末日					
11	8	・高齢者の自立を支える 第6章 食生活をつくる ・日本の食文化の形成				4			④	1月末日
12	3	・私たちの食生活 ・栄養と食生活のかかわり ・食品の選び方と安全 ・これからの食生活を考える					4			
1	6	第8章 住生活をつくる ・人間と住まい ・住まいの文化	4	④	1月末日					
2	7	・住まいの計画 第9章 経済的に自立する ・暮らしと経済				4			④	1月末日
3	2	・将来のライフプランニング 第5章 社会とかかわる					4			

2026年度 年間教育計画

所属	札幌科学技術専門学校	学科	普通科	コース		学年・年次	1年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
情報	情報Ⅰ	2	2	木津 宜之			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編 情報Ⅰ		東京書籍	-	-			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	②④⑦⑨	面接時数	全実施時間数 63時間		
	報告課題集				標準面接時数 4時間		
定期試験	年間・学期 4回	評定算出方法	試験成績60点・平常点40点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	60%						

指導目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、社会生活での問題発見・解決のために情報技術を適切に活用し情報社会に参画する能力と態度を身につけさせる。

① 情報や情報技術についての知識・技能を身につけ問題解決の方法を習得する。

② 社会生活の中での諸問題を情報の側面から考察し情報技術を活用して表現する力を養う。

③ 情報や情報技術の活用を通じて多様な価値観に触れ尊重し情報社会に主体的に生きる態度を養う。

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	6	【情報で問題を解決する】 ・情報とメディアの特性 ・情報モラル	1	②	5月26日		
5	6	・ネット犯罪 ・知的財産権と産業財産権 ・情報化と社会生活					
6	10	【情報を伝える】 ・コミュニケーションの特徴 ・デジタルとアナログ ・数値と文字のデジタル表現(2進法、単位、文字コード)	2	④	7月14日		
7	4	・音と画像のデジタル表現 ・色と動画のデジタル表現 ・情報デザインとユニバーサルデザイン ・制作実習					
8	3	【コンピュータを活用する】 ・コンピュータの仕組み(ハードウェア、ソフトウェア、5大装置) ・アルゴリズムの表現	3	⑦	9月28日		
9	5	・プログラムの基本構造 ・プログラム言語 ・プログラム実習					
10	6	【ネットワークの活用】 ・ネットワーク(LAN、WAN、インターネット) ・インターネットの仕組み	4	⑨	11月30日		
11	7	・サーバとクライアント ・インターネット上のサービス(WWW、電子メール) ・情報セキュリティ					
12	5	【データの活用】 ・データの形式(質的、量的、各種尺度) ・データベースの活用(社会生活での活用事例)					
1	4	・データ分析の流れ(計画、収集、分析) ・データの利用					
2	6	【課題解決実習】 ・課題設定					
3	1	・グループワーク ・発表					

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	1年生	
科目名	工業技術基礎	単位数	3	教科書	丙種危険物取扱者受験教科書	出版社	向学院	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				105h		
4	1～10	・燃焼の定義、燃焼の三要素(可燃物、酸素供給源、点火源となるもの)、静電気の発生・蓄積防止について ・燃焼の難易、液体の燃焼について、着火点、着火温度、発火点、燃焼範囲				7		
5	11～18	・消火のしくみ、消火剤の特色について、校内設置の消火器の実物を見せるなどして解説する。 ・国家試験用練習問題の実施				11		
6	19～24	・消火剤の特色、丙種危険物取扱者が取り扱える危険物の消火方法のまとめと、共通する性質と貯蔵・取扱の方法、消火方法 ・国家試験用練習問題の実施				12	前期中間	
7	25～37	・ガソリン、灯油、軽油、重油、第4石油類、動植物油類の性質と危険性について、可能な限り、実物を見せながら解説する。 ・国家試験用練習問題の実施				9		
8	38～42 49～52	・消防法に関して、指定数量、貯蔵量の倍数計算、許可・承認・届出の違いを指導 ・国家試験用練習問題の実施				6		
9	43～48 53～57	・消防法に関して、定期点検、施設保安員、保安統括管理者、保安監督者、申請先、危険物取扱者およびその取り扱うことの出来る危険物の種類について解説する。 ・国家試験用練習問題の実施				9	前期期末	
10	58～62 70～73	・危険物の規制に関する政令に関して、貯蔵所と取扱所の区分、構造及び設置の基準について、表を作成してそれぞれの製造所等の特徴・違いなどを解説する。 ・国家試験用練習問題の実施				12		
11	63～69 74～78	・危険物の規制に関する政令および規則に関して、給油、給油空地、地下タンクの容量、通則等を指導、移送と運搬の違い、運搬基準、消火設備の区分と適応性、掲示板と標識などを解説する。 ・国家試験模擬問題の実施と解説				10	後期中間	
12	79～109	・国家試験模擬問題の実施と解説				8		
1	79～109	・国家試験模擬問題の実施と解説				7		
2	79～109	・国家試験模擬問題の実施と解説				9	学年末	
3	79～109	・国家試験模擬問題の実施と解説				5	国家試験	

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	1年生	
科目名	工業技術基礎	単位数	3	教科書	明快入門C	出版社	SBクリエイティブ	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				105h		
4		・プログラミング言語の歴史 コンピュータの発展とプログラミング言語の歴史をフローチャートを用いながら理解させる。 ・コンパイルソフトの使用方法について ・変数とデータ型				8		
5		・基数変換 メモリ領域の確保と利用について実技を交えて理解させる ・printf関数の扱い 変換指定子の設定方法について、座学と実技を交えて理解させる ・scanf関数の扱い				10		
6		・演算子 変数の様々な演算について、座学と実技を交えて理解させる ・制御構造(if文) ミニプログラムを作成し、制御構造(選択)の基本を理解させる				13	前期中間	
7		・制御構造(switch文) ミニプログラムを作成し、制御構造(選択)の基本を理解させる				7		
8		・制御構造(for文) ミニプログラムを作成し、制御構造(選択)の基本を理解させる				5		
9		・制御構造(for文) ミニプログラムを作成し、制御構造(繰り返し)の基本を理解させる				9	前期期末	
10		・制御構造(for文二重ループ) ミニプログラムを作成し、for文の二重構造の制御について理解させる ・制御構造(while文) ミニプログラムを作成し、制御構造(繰り返し)の基本を理解させる				12		
11		・配列(数値) 変数と配列の違い、配列の利用方法について理解させる ・配列(文字) 文字列を配列で取り扱う方法を理解させる				11		
12		・関数 関数の仕組み、作成方法を座学と実技を交えて理解させる				7	後期中	
1		・乱数 乱数の発生方法、取り扱いを座学と実技を交えて理解させる				8		
2		・中模擬プログラム(数当てゲーム) ・中模擬プログラム(じゃんけんゲーム) 中規模の模擬プログラムをもとに、アルゴリズムの基本を理解させる				9	学年末	
3		・模擬プログラム(早打ちゲーム) ・模擬プログラム(迷路ゲーム) 様々なヘッダファイルを読み込み、応用プログラムを作成する				6		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	2年生
科目名	工業技術基礎	単位数	2	教科書	乙種危険物取扱者受験教科書	出版社	向学院
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h		
4	1～22	第1編 物理学と科学の基礎知識 基礎的物理学及び基礎的化学			5		
5	23～33	燃焼の基礎知識			7		
6	34～40	消火に関する基礎知識			7	前期中間	
7	41～43	第2編 危険物の性質並びにその火災予防 第4類危険物以外の危険物の概論			6		
8	44～64	第4類危険物の概論			4		
9	65～85	第3編 危険物に関する法令 消防法に記された法令			5	前期期末	
10	86～96	危険物の規制に関する政令			7		
11	97～113	危険物の規制に関する規則			8	後期中間	
12		・国家試験模擬問題の実施と解説			4		
1		・国家試験模擬問題の実施と解説			5		
2		・国家試験模擬問題の実施と解説			7	学年末	
3		・国家試験模擬問題の実施と解説			5	国家試験	

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校 高等課程							
学 科	普通科		コース	総合技術科		学年・年次	2年生	
科目名	工業技術基礎	単位数	2	教科書	新・明解 Java入門 第2版	出版社	=SoftBankCreative	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				70h		
4	P.1 ～ P.33	第1章 画面に文字を表示しよう 1-1 Javaについて 1-2 画面に文字を表示しよう 第2章 変数を使おう 2-1 変数を使おう				5		
5	P.34 ～ P.86	第2章 変数を使おう 2-2 キーボードからの入力 第3章 プログラムの流れの分岐 3-1 if文 3-2 switch文 3-3 プログラムの構成要素				7		
6	P.87 ～ P.119	第4章プログラムの流れの繰り返し 4-1 do文 4-2 while文 4-3 for文 4-5 break文とcontinue文				7	前期中間 試験	前期中間 試験 6/9～12
7	P.127 ～ P.190	第5章 基本型と演算 5-1 基本型 5-2 演算と型 5-3 拡張表記 第6章 配列 6-1 配列 6-2 多次元配列				6		
8	P.127 ～ P.190	第5章 基本型と演算 5-1 基本型 5-2 演算と型 5-3 拡張表記 第6章 配列 6-1 配列 6-2 多次元配列				4		
9	P.191 ～ P.260	第7章 メソッド 7-1 メソッドとは 7-3 配列を扱うメソッド 第8章 クラスの基本 8-1 クラスとは				5	前期期末 試験	前期期末 試験 9/8～11
10	P.261 ～ P.316	第9章 単純なクラスの作成 9-1 日付クラスの作成 9-2 クラス型のフィールド 第10章 クラス変数とクラスメソッド 10-1 クラス変数 10-2 クラスメソッド 10-3 クラス初期化とインスタンス初期化				7		
11	P.317 ～ P.340	第11章 パッケージ 11-1 パッケージとインポート宣言 11-2 パッケージの宣言 11-3 クラスとメンバのアクセス性				8		
12	P.341 ～ P.376	第12章 クラスの派生と多様性 12-1 継承 12-2 多相性 12-3 継承とアクセス性				4	後期中間 試験	後期中間 試験 12/1～4
1	P.341 ～ P.376	第12章 クラスの派生と多様性 12-1 継承 12-2 多相性 12-3 継承とアクセス性				5		
2	P.449 ～ P.474	第16章 文字と文字列 16-2文字列とString 16-3コマンドライン引数				7	学年末 試験 検定試験	学年末 試験 2/8～12
3	なし	1年間の総復習 ・Jarファイルの作成				5		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	総合技術科		コース		学年・年次	3年生	
科目名	課題研究(自動車)	単位数	3	教科書		出版社	
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			105h		
4	---	エンジンの概要1(トヨタ ディーゼルエンジン(ハイエース)) エンジン1の分解・組立① エンジン1の分解・組立②		6		6種類のエンジンの基本的分解・組立手順を、全員で実施する(1台につき2回)。	
5	---	エンジンの概要2(ニッサン V6エンジン(セドリック)) エンジン2の分解・組立① エンジン2の分解・組立② エンジンの概要3(いすゞ 直4エンジン(ジェミニ)) エンジン3の分解・組立① エンジン3の分解・組立② エンジンの概要4(スズキ 直3エンジン(ワゴンR)) エンジン4の分解・組立① エンジン4の分解・組立②		15			
6	---	エンジンの概要5(トヨタ 直4エンジン(セリカ)) エンジン5の分解・組立① エンジン5の分解・組立②		9			
7	---	エンジンの概要6(トヨタ 直4エンジン(スプリンター)) エンジン6の分解・組立① エンジン6の分解・組立② 測定・点検実習1 1. カムリフト 2. カムシャフトのジャーナル径 測定・点検実習2 1. バルブシステムの全長 2. バルブシステムの外径		12			
8	---	測定・点検実習3 1. バルブシステムの曲がり 測定・点検実習4 1. バルブスプリングの自由長 2. バルブスプリングの直角度 測定・点検実習5 1. ピストンリングの厚さ 2. リング溝 3. 合い口すき間		9			
9	---	測定・点検実習6 1. クランクシャフトのスラストクリアランス 2. カムシャフトのスラストクリアランス 3. カムシャフトのバックラッシュ 測定・点検実習7 1. シリンダ内径、ピストンストローク 測定・点検実習8 1. 排気量の計算 測定・点検実習9 1. 燃焼室容積 2. 圧縮比		12			
10	---	シャシ実習1 1. 変速装置の歯数と変速比 2. 変速装置の軸の曲がりと振れ シャシ実習2 1. 終減速装置の構造 シャシ実習3 1. タイヤの摩耗 2. タイヤの外径、断面幅、高さ シャシ実習4 1. ドラムブレーキ分解 シャシ実習5 1. ドラムブレーキ点検、測定		15			
11	---	シャシ実習6 1. 常用・駐車ブレーキの機構 シャシ実習7 1. ドラムブレーキ点検、測定 シャシ実習8 1. ディスクブレーキ分解 シャシ実習9 1. ディスクブレーキ点検、測定		12			
12	---	シャシ実習10 1. コイルばねの分解 シャシ実習11 1. コイルばねの測定		6			
1	---	シャシ実習12 1. ステアリング装置の分解 シャシ実習13 1. 懸架装置の分解 シャシ実習14 1. 自動変速装置の分解		9			
2	---						
3	---						

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	3年次	
科目名	課題研究(情報)	単位数	3	教科書		出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			90h			
4		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう				6		
5		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう				15		
6		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう 1.AI概論 1-1:AIの概要 1-2:AIの歴史と動向 1-3:人工知能の種類 1-4:AI分野の課題 1-5:AIの関連知識				9		
7		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう 1.AI概論 1-1:AIの概要 1-2:AIの歴史と動向 1-3:人工知能の種類 1-4:AI分野の課題 1-5:AIの関連知識				12		
8		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう 2.機械学習 2-1:機械学習の概要 2-2:機械学習の種類 2-3:機械学習のプロセス				9		
9		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう 2.機械学習 2-1:機械学習の概要 2-2:機械学習の種類 2-3:機械学習のプロセス				12		
10		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう 3.深層学習 3-1:深層学習の概要 3-2:深層学習のプロセス 4.基礎数学 4-1:場合の数と確率 4-2:データの分布 4-3:統計的な推測				15		
11		■ゲーム作成:Vroidを使ってUnityでアニメーションを学ぼう 5.法規・倫理 5-1:産業への応用 5-2:知的財産の保護 5-3:倫理 検定試験対策				12		
12		検定試験対策				6		
1		3年間の情報分野の総復習				9		
2						0		
3						0		

《留意事項》

参考書・Webサイト

Code Genius ～初学者のためのプログラミング学習サイト～ : <https://codegenius.org/>

Unity5 3D/2Dゲーム開発 実践入門 作りながら覚えるスマートフォンゲーム制作 ソシム株式会社

ディープラーニングG検定公式テキスト 株式会社 翔泳社

人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの 著:松尾豊 角川文庫

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	3年	
科目名	課題研究(電気)	単位数	3	教科書	プリント教材	出版社	—	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				105h		
4		【電気工事士筆記対策】 ・過去問題演習(配線図、材料、工具) 【技能試験対策】 ・単位作業の基礎(2年次のおさらい)				6		
5						15		
6		【電気工事士筆記対策】 ・過去問題演習(施工法、検査、法令、電気機器) 【技能試験対策】 ・単位作業の基礎(2年次のおさらい)				9		授業内で確認テスト実施
7						12		
8		【電気工事士筆記対策】 ・過去問題演習(電気理論、配電理論、配線設計) ・総合演習と模擬試験				9		
9						12		授業内で確認テスト実施
10		【電気計測実習】 ・電流計電圧計の取扱い ・オームの法則実験 ・ホイートストンブリッジ ・シンクロスコープの取扱い				15		電気工事士国試(筆記)
11		【電子計測実習】 ・ダイオードの特性 ・トランジスタの静特性 ・電源回路 ・デジタルIC				12		
12		【電子工作実習】 ・マルチバイブレータ回路によるLED点滅回路の製作				6		電気工事士国試(技能)
1						9		授業内で確認テスト実施
2								
3								

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	3年	
科目名	課題研究	単位数	3	教科書		出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			105h			
4		顕微鏡観察 顕微鏡の使い方を理解すると共に観察力をつける。マイクロメーターを使用して対象物を測定する方法を知る。 資格試験(初級バイオ技術者認定試験・登録販売者試験)勉強				6		
5		ポテトチップ調べ スライス型、チップ形成型のポテトチップを比べる。 資格試験(初級バイオ技術者認定試験・登録販売者試験)勉強 畑での植物栽培				15		
6		微生物観察 寒天培地を作り、酵母、納豆菌などを培養し観察する。 資格試験(初級バイオ技術者認定試験・登録販売者試験)勉強 畑での植物栽培				9		
7		水質調査 ペットボトルを用いて雨水を集め、パックテストを用いて水質を調査する。同時にPHや温度も測定する。 資格試験(初級バイオ技術者認定試験・登録販売者試験)勉強 畑での植物栽培				12		
8		生分解性プラスチックの作成 牛乳からカゼインを取り出し、生分解性プラスチックを作る。 資格試験(初級バイオ技術者認定試験・登録販売者試験)勉強 畑での植物栽培				9		
9		酸化還元反応 ジャガイモと酸化マンガンを用いて生体触媒と無機触媒の違いを観察する。 北海道大学博物館見学 畑での植物栽培				12		
10		豆腐作り 豆腐の成分や歴史を学習した後、大豆から豆腐を作成する。 円山動物園見学				15		
11		人工着色料と天然着色料の比較 毛糸を用いて着色料の染まりやすさを比較する。 炎色反応 炎色反応キットを用いてそれぞれの反応の色を見る。				12		
12		草木染め タマネギを使って染色をする。アルミ媒染と鉄媒染について行い、色の違いを観察する。 結晶作り ミョウバンと食塩で結晶を作って観察する。				6		
1		水あめ作り デンプンから水あめを作る。尿糖検査紙で糖ができているかどうか調べる。 みかんの缶詰作り 温州みかんの薄皮を酸とアルカリの反応できれいに取り除き、その理由を考察する。				9		
2								
3								

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	総合技術科		コース		学年・年次	2年生	
科目名	実習(自動車)	単位数	3	教科書	出版社		
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			105h		
4	---	実習の概要と使用工具 1. 実習の概要説明と心得 2. 使用工具の名称と用途 3. レポート作成 分解実習1 1. 安全管理と分解の基本 2. 分解手順、箇所の機構、役割 3. エンジンオイルの脱油と給油 4. レポート作成 分解実習2 1. 分解手順と箇所の機構、役割 2. エアクリーナ 3. マフラー			6		
5	---	分解実習3 1. キャブレタ 2. スパークプラグ(火花放電) 3. フライホイールカバー 4. コントロールベース 分解実習4 1. シュラウド、OHVカバー 2. シリンダヘッド 3. バルブ、バルブスプリング 4. プッシュロッド、ロッカアーム 分解実習5 1. ピストン、ピストンリング 2. ピストンピン、コンロッド 分解実習6 1. カムシャフト 2. クランクシャフト			12		
6	---	計測器の概要1 1. ノギスの基本的取扱い 2. 測定練習 計測器の概要2 1. マイクロメータの基本的取扱い 2. 測定練習 計測器の概要3 1. ダイアルゲージの基本的取扱い 2. シリンダゲージの基本的取扱い 3. 測定練習 測定および点検実習1 1. タペットすき間 2. シリンダヘッド歪み			9		
7	---	測定および点検実習2 1. バルブステム外径 2. バルブステム曲がり 測定および点検実習3 1. バルブスプリング自由長 2. バルブスプリング直角度 測定および点検実習4 1. カムの長径、短径 2. カムリフト			9		
8	---	測定および点検実習5 1. ピストンリング合い口すきま 2. ピストンリング厚さ 測定および点検実習6 1. シリンダ内径 2. ピストンストローク 3. 排気量の計算			6		
9	---	バイク実習1 1. バイクの構造、点検・整備項目 バイク実習2 1. バイクの構造、点検・整備項目			9		
10	---	分解実習1 1. 自動車エンジン、スタンドの解説 2. マニホールド 3. シリンダヘッドカバー 分解実習2 1. ベルトカバー 2. タイミングベルト、ガイド 3. プーリ 分解実習3 1. カムシャフト 2. シリンダヘッド			12		
11	---	分解実習4 1. バルブリフト、コッタ 2. バルブ、バルブスプリング 分解実習5 1. オイルパン 2. コンロッド 3. ピストン 分解実習6 1. オイルポンプ 2. オイルリテーナ 分解実習7 1. クランクシャフト			12		
12	---	測定および点検実習1 1. バルブステム全長 2. バルブステム外径 測定および点検実習2 1. バルブスプリングの自由長 2. バルブスプリングの直角度 測定および点検実習3 1. カムの長径、短径 2. カムリフト			6		
1	---	測定および点検実習4 2. カムシャフトの曲がりと振れ 測定および点検実習5 1. ピストン外径			9		
2	---	測定および点検実習6 1. ピストンリングとリング溝のすき間 2. ピストンリング合い口すき間 3. ピストンリングの厚さ 測定および点検実習7 1. オイルポンプのチップクリアランス 2. オイルポンプのボディークリアランス 3. オイルポンプのサイドクリアランス 測定および点検実習8 1. クランクシャフトのスラストクリアランス 2. カムシャフトのスラストクリアランス			9		
3	---	測定および点検実習9 1. シリンダスリーブ内径 2. ピストンストローク 3. シリンダヘッドの歪み 測定および点検実習10 3. 排気量の計算			6		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	2年次	
科目名	実習(情報)	単位数	3	教科書		出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				105h		
4		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、基礎的なボール転がしゲームを作成する				6		
5		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、基礎的なボール転がしゲームを作成する				12		
6		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、基礎的なボール転がしゲームを作成する				9		
7		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、基礎的なボール転がしゲームを作成する				9		
8		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する				6		
9		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する				9		
10		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する				12		
11		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する				12		
12		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する ※2人PLAY用に改良する				6		
1		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する ※2人PLAY用に改良する				9		
2		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する ※2人PLAY用に改良する				9		
3		Unityゲーム作成 ※Unity2022を使い、戦車ゲームを作成する ※2人PLAY用に改良する				6		

《留意事項》

参考書・Webサイト

Code Genius ～初学者のためのプログラミング学習サイト～ : <https://codegenius.org/>

Unity5 3D/2Dゲーム開発 実践入門 作りながら覚えるスマートフォンゲーム制作 ソシム株式会社

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	総合技術科	コース		学年・年次	2年		
科目名	実習(電気)	単位数	3	教科書	—	出版社	—
月	指 導 内 容			指導時数	試 験	備 考	
	ページ	項 目・内 容		105h			
4		【オリエンテーション】 ・電気工事士の役割 ・実習の進め方 ・工具の取扱い方		6			
5		【実技1】 ・電線、ケーブルの取扱い 【筆記1】 ・鑑別(器具・工具)		12			
6		【実技2】 ・器具の接続(点滅器・コンセント・レセプタクル・引掛シーリング他) 【筆記2】 ・配線図(屋内配線図の見方、読み方、各種記号)		9		実習内での確認テスト	
7		【実技3】 ・器具の接続(アウトレットボックスと各種管との接続) 【筆記3】 ・単線図の複線図(書き方・基本的な図)		9			
8		【実技4】 ・電線の接続(VVR、EM—EEFの取扱い) 【筆記4】 ・単線図の複線図(複雑な図)		6			
9		【実技5】 ・総合実習(実技1～実技4の復習) 【筆記5】 ・総合演習(筆記1～筆記4の復習)		9		実習内での確認テスト	
10		【実技6】 ・単位作業(公表問題1～6) 【筆記6】 ・工事の施工方法(各種工事の基本事項)		12			
11		【実技7】 ・単位作業(公表問題7～13) 【筆記7】 ・各種電気機器(電動機、蛍光灯、パイロットランプ、3路、4路スイッチ)		12			
12		【実技8】 ・電圧計、電流計の接続と読み方 【筆記8】 ・各種計測器(回路計、接地抵抗計、絶縁抵抗計他)		6		実習内での確認テスト	
1		【筆記9】 ・法令		9			
2		【筆記10】 ・各種検査 ・電気理論		9		実習内での確認テスト	
3		【筆記11】 ・電気理論		6			

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	普通科	コース	総合技術科		学年・年次	3年	
科目名	製 図	単位数	2	教科書	機械製図	出版社	実教出版
月	ページ	指 導 内 容 項 目・内 容	指導時数 70h	試 験	備 考		
4		機械製図と規格 文字と記号 ・数字、ラテン文字(大文字)	5				
5		CADとは ・CADの操作法 ・直線の引き方 ・曲線の引き方 ・線の種類、太さ	8				
6		線と平面図 ・ラテン文字(小文字) ・記号、漢字 ・直線、円弧 ・平面図形	10	6/9 ~12	前期中間		
7		投影図のえがき方 ・投影法 ・第三角法 ・等角図 ・第三角法	8				
8		立体的な図示法 ・等角図 ・第三角法 ・展開図	5				
9		機械製図 ・第三角法 機械製図に用いる線、図法、寸法記入法 ・図記号の作図法	7	9/8 ~11	前期期末		
10		機械製図 ・軸受 ・溶接継手	9				
11		簡単な器具・機械の設計図 ・機械製図の要点 ・器具の機械のスケッチと製図	10				
12		トレース ・取付金具1 ・取付金具2 ・取付金具3	5	12/1 ~4	後期中間		
1		トレース ・屋内配線図1 ・屋内配線図2	3	1/26 ~29	卒業試験		
2							
3							

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	1年
科目名	工業情報数理	単位数	1	教科書	—		出版社
月	指 導 内 容					指導時数	試 験
	ページ	項 目・内 容				38h	備 考
4		1年間の学習内容の説明 ・電卓検定の説明				2	
5		量と単位 ・量記号とSI単位				4	
6		長さ、面積、体積 ・長さ、面積、体積の求め方と換算 時間と速さ ・時間の表し方と換算 ・速さの求め方				4	6/9～12 前期中間
7		加速度 ・加速度の意味と求め方				3	
8		オームの法則 ・電気の単位				2	
9		電卓操作① ・数字、文字の書き方 ・キーの役割 ・乗算				4	9/8～11 前期期末
10		電卓操作② ・除算 ・見取算				5	
11		電卓操作③ ・伝票算 オームの法則 ・電気の単位 ・オームの法則の使い方				4	
12		電卓操作④ ・練習問題 抵抗の接続 ・直列と並列				2	12/1～4 後期中間
1		電卓操作⑤ ・練習問題 面積 ・図形の面積 ・敷地と建ぺい率				3	
2		電卓操作⑥ ・練習問題 濃度 ・濃度計算 ・溶液の混合				4	2/8～12 学年末
3		1年間のまとめ ・計算練習				1	

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	2年生	
科目名	自動車工学	単位数	2	教科書	自動車工学1	出版社	実教出版	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				70h		
4	5～11 17～20	第1章 人と自動車 1節 自動車の発達 1原動機の利用 2各装置の構造と機能の改良 2節 自動車のあらし 1自動車の種類 2自動車の構造				4		
5	86～91 127～128	第2章 自動車の原理 2節 動力の発生 1熱エネルギーの発生と変換 2エンジンの働き 第3章 自動車用エンジン 1節 ガソリンエンジン 1ガソリンエンジンの構成				9		
6	129～137	2 エンジン本体 1シリンダブロックとシリンダヘッド 2ピストンとコネクティングロッド				9	前期中間	
7	137～142	3クランクシャフトとクランクケース				5		
8	142～150	4バルブとバルブ機構				4		
9	48～59	1節 自動車の力学 1力とその働き 2運動の表し方				7	前期期末	
10	59～70	3力と運動 4運動とエネルギー				7		
11	70～85	5熱とエネルギー 6材料の強さ				6		
12	95～105	3節 動力の伝達 3トランスミッション				5	後期中間	
1	119～122	5節 自動車の制動 1圧力とその利用				5		
2	123～126	2摩擦				6	学年末	
3		3年生「自動車工学2」の学習に向けて				3		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	3年生	
科目名	自動車工学	単位数	2	教科書	自動車工学2	出版社	実教出版	
月	指 導 内 容					指導時数 70h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容						
4	8～10	第4章 動力伝達装置 1 クラッチ 1クラッチの働き 2クラッチの操作機構				6		
5	10～12	3摩擦クラッチの作動 4クラッチ本体				8		
6	13～29	2 変速装置 1変速装置の種類と働き 2手動変速装置のしくみと働き 3変速装置の操作機構 4自動変速装置				8	前期中間	
7	30～36	3 その他の動力伝達装置 1プロペラシャフト 2終減速装置 3前輪駆動式 4総輪駆動式				7		
8	37～47	第5章 走行装置・懸架装置とかじ取り装置 1 走行装置 1車軸 2車輪				5		
9	47～51 65～67	3車輪の整列 第6章 ブレーキ装置 1 ブレーキ装置の役割 2 ブレーキ装置の構造と作用 1ブレーキ装置のあらまし				7	前期期末	
10	68～82 52～54	2ブレーキ装置の種類と構造 3ブレーキ装置の操作機構 2 懸架装置 1懸架装置の構成 2懸架装置の種類と構造				10		
11	55～60	3懸架用ばね 4揺れ止め 3 かじ取り装置 1かじ取り装置 2かじ取りの原理				9		
12	60～64	3かじ取り装置の構造 4かじ取り倍力装置				5	後期中間	
1	97～104	第8章 走行と性能 1 走行抵抗と駆動力 1走行抵抗 2駆動力と走行抵抗				5	卒業試験	
2								
3								

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程					
学 科	普通科	コース	総 合 技 術 科		学年・年次	2年
科目名	電気回路	単位数	2	教科書	電気回路1 新訂版	出版社 実教出版
月	ページ	指 導 内 容 項 目・内 容	指導時数 70h	試 験	備 考	
4	6～10	電気回路の電流と電圧 ・電気回路の電流 ・電気回路の構成 ・電気回路の電圧	5			
5	14～23	抵抗・コンデンサ・コイル ・抵抗器・コンデンサ・コイル 直流回路 ・オームの法則	7			
6	24～30	・抵抗の直列接続 ・抵抗の並列接続	9	6/9 ～12	前期中間	
7	31～33	・抵抗の直並列接続 ・抵抗の各種接続における合成抵抗	5			
8		・抵抗の各種接続における合成抵抗	5			
9		・抵抗の合成抵抗とオームの法則の計算	5	9/8 ～11	前期期末	
10		・抵抗の合成抵抗とオームの法則の計算	6			
11		・抵抗の各種接続とオームの法則の練習問題	8			
12	34～39	・電流・電圧・抵抗に測定 ・練習問題	5	12/1 ～4	後期中間	
1	40～41	・電池の接続 ・電池の接続の練習問題	4			
2	42～43	キルヒホッフの法則について ・第1法則の立て方 ・第2法則の立て方	7	2/8 ～12	学年末	
3		・キルヒホッフの法則の練習問題	4			

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	3年	
科目名	電気回路	単位数	2	教科書	電気基礎入門 早わかり	出版社	実教出版	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h			
4	56～ 57	直流回路の計算と電流の働き 2年時の復習 ・キルヒホッフの法則 ・第1法則と第2法則				6		
5	58～ 59	・キルヒホッフの法則の適用例 ・ホイートストンブリッジの原理				9		
6	60～ 61	・電池の内部抵抗 ・電池の直列接続と並列接続 ・電池の起電力と端子電圧				9	6/9 ～12	前期中間
7	62～ 65	・電力と水力 ・電力の表し方 ・電力量の表し方 ・ゼーベック効果 ・ペルチェ効果				7		
8	66～ 72	・電解液と電気分解 ・電池の種類と原理 磁気はどのような性質をもっているか ・磁石と磁極の働き				4		
9	73～ 75	・磁気誘導とは ・分子磁石について ・磁力線と磁極間に働く力				7	9/8 ～11	前期期末
10	76～ 77	・磁力線と磁束 ・磁束密度について ・磁束密度と磁界の強さ ・透磁率と比透磁率				8		
11	78～ 80	・アンペアの右ねじの法則 ・右手親指の法則 ・起磁力の強さについて ・磁気抵抗とは				8		
12	81～ 82	・磁気回路におけるオームの法則 ・磁気抵抗と電気抵抗 ・磁化曲線について				6	12/1 ～4	後期中間
1	83～ 89	・ヒステリシス曲線について モータと発電機の原理を調べる ・フレミングの左手の法則 ・電磁力の大きさ				6	1/26 ～29	卒業試験
2								
3								

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	3年	
科目名	電子技術	単位数	2	教科書	電子技術 新訂版	出版社	実教	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h			
4	4～5 8～9	・電子技術の発展 : 電子技術の歴史、電子技術と現代社会 ・原子と電子 : 原子の構造、自由電子と正孔、共有結合				5		
5	10～16	・半導体 : 半導体の性質、真性半導体、不純物半導体、n形とp形半導体 ・ダイオード : 構造、回路記号、順方向、逆方向電圧電流、空乏層、整流作用				8		
6	17～29	・トランジスタ : 構造、動作原理、接地方式、電流増幅率、最大定格 ・電界効果トランジスタ : 接合形FETの構造・動作原理、MOS形FETの構造・動作原理 ・集積回路 : 集積回路の種類、特徴と用途				10	6/9～ 6/12	前期中間
7	30～34 82 見返し1,2	・さまざまな半導体素子 : 低電圧ダイオード、可変容量ダイオード、発光、受光素子 ・まとめの問題(各種半導体電子部品の基本事項) ・電源回路 : 電源回路の構成				8		
8	82～88	・電源回路 : 整流回路(半波、全波)、平滑回路、リップル、電圧安定回路				5		
9	プリント 見返し6	・受動部品 : 抵抗・コンデンサ・コイルの構造と種類、取扱い 抵抗のカラーコードの読み方、コンデンサの値の読み方				7	9/8～ 9/11	前期期末
10	92～101	・論理回路 : 基本論理ゲート、真理値表、論理式 ・組み合わせ論理回路 : RSフリップフロップ、JKフリップフロップ、タイムチャート ・デジタルIC : デジタルICの種類と取扱い				9		
11	140～ 139、 149～ 159	・無線通信システム : 電波の定義、電波の性質、電波伝搬、変調と復調、空中線 ・テレビジョン放送 : テレビジョンの原理、衛星放送、地上デジタル放送				10		
12	202～ 214	・音響機器 : 音波の性質、聴覚の性質、マイクロホン、スピーカ ・1年間のまとめの問題				5	12/1～ 12/4	後期中間
1						3	1/26～ 1/29	卒業試験
2								
3								

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	2年生	
科目名	プログラミング技術	単位数	2	教科書	ホームページ辞典	出版社	アंक	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h			
4		・HTMLの基本的なタグ ・文字構造に関するタグ ・文字に関するタグ ・画像に関するタグ			6			
5		・イメージマップの利用 ・ハイパーリンクの設定 ・テーブルの基礎 ・テーブルの応用			7			
6		・インラインフレームの設定 ・動画、音声の組み込み ・フォームに関するタグ			8	前期中間		
7		・スタイルシートの基礎 ・スタイルシートの利用			6			
8		・スタイルシートの応用			4			
9		・HTMLとCSSの組み合わせによるページの作成			7	前期期末		
10		・HTMLとCSSの組み合わせによるページの作成			7			
11		・スタイルシートの一括指定			7			
12		・疑似要素 ・様々なセレクト			5	後期中		
1		・スタイルシートの優先順位 ・配置に関するプロパティ			5			
2		・模擬問題の練習			5	学年末		
3		・模擬問題の練習			3			

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	3年生	
科目名	プログラミング技術	単位数	2	教科書	Webクリエイター能力認定試験エキスパート 公式テキスト/ホームページ辞典	出版社	FOM出版	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70h			
4		・Webデザインの基礎知識 ・レイアウトの基本原則 ・色彩の基礎知識 ・光の3原色、色の3原色 ・配色の基礎知識				6		
5		・Webデザインの基礎知識 ・タイポグラフィ ・ユーザビリティに考慮したデザイン ・画像加工 ・シェイプとプロポーション				9		
6		・Webクリエイター試験エキスパート知識問題模擬問題				9	前期中間	
7		・JavaScriptの基本 ・JavaScriptの特徴 ・イベントハンドラ ・関数 ・変数				7		
8		・関数 ・変数				4		
9		・比較と条件式 ・制御文（if文、switch文）				7	前期期末	
10		・配列 ・繰り返し処理（for文）				8		
11		・関数の引数 ・オブジェクト ・DOM				8		
12		・オリジナルページ作成課題				6	後期中間	
1		・ミニゲーム作成				6	卒業試験	
2								
3								

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総合技術科		学年・年次	1年	
科目名	ソフトウェア技術Ⅰ	単位数	2	教科書	Word文書処理技能認定試験3級問題集 2021対応	出版社	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定協会	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			68h			
4		キーボードで五十音、濁音、半濁音をローマ字入力でスムーズに行えるよう簡単な文章を用いながら指導を行う				5		
5		キーボードで五十音、濁音、半濁音をローマ字入力でスムーズに行えるよう簡単な文章を用いながら指導を行う 10分間の文字入力測定(目標:250文字／10分)				8		
6		ワードアート、図の挿入、表の作成などwordの様々な機能を例題を用いながら学習する 10分間の文字入力測定(目標:270文字／10分)				8		
7		wordの基本機能から応用機能を実際に検定の練習問題を一緒に解きながら学習する 10分間の文字入力測定(目標:300文字／10分)				5		
8		wordの基本機能から応用機能を実際に検定の練習問題を一緒に解きながら学習する 10分間の文字入力測定(目標:320文字／10分)				4	前期末試験	
9		wordの基本機能から応用機能を実際に検定の練習問題を一緒に解きながら学習する 10分間の文字入力測定(目標:350文字／10分)				5		
10		検定の練習問題を1人で作成し、wordの機能がどれだけ使用できるか確認をする				8		
11		検定の練習問題を1人で作成できるようになる				8		
12		検定と同様の形式で問題を解き、時間内でどこまで完成図に近づけるか確認する				3		
1		検定と同様の形式で課題の作成を行う				5		
2		検定と同様の形式で作成し、時間内での完成を目指す				6	学年末試験	
3		検定試験				3		Word文書処理技能認定試験

《留意事項》

プリントを配布し、授業を展開する。

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程						
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	2年
科目名	ソフトウェア技術	単位数	2	教科書	Excel表計算認定試験3級問題集	出版社	サーティファイ
月	指 導 内 容				指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			70		
4		Excelの概要説明・基本操作			4		
		Excelの概要・特徴・計算入力・連続データ入力					
5		Excelの概要説明・基本操作			6		
		列幅(行高さ)の変更・インデント・回転・フォント・関数					
6		Excelの概要説明・基本操作			8		
		シートの使い方・自動フリガナ機能・グラフ機能・図形の挿入					
7		実技練習問題			6		
		データベース(並び替え・フィルター機能)・印刷設定					
8		実技練習問題			6		
		実技練習問題1～5					
9		実技練習問題			8	前期期 末試験	
		実技練習問題6～10					
10		実技模擬問題			6		
		実技模擬問題1～5					
11		実技模擬問題			6	後期中 間試験	
		実技模擬問題6～9					
12		実技模擬問題			6		
		実技模擬問題10～13					
1		実技模擬問題			4		
		実技模擬問題14～16					
2		検定対策問題			8	学年末 試験	
		検定対策問題1～4					
3		検定試験			2		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程					
学 科	普通科	コース	総合技術科		学年・年次	3年生
科目名	ソフトウェア技術	単位数	2	教科書	Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集	出版社 株式会社サーティファイ
月	指 導 内 容			指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容		70h		
4		Accessの基礎知識 Accessの画面構成 データベースの基礎知識について学ぶ		7		
5		実際にデータベースの作成を行う テーブルの定義・データの入力方法 クエリの作成方法、抽出条件の種類について学ぶ		8		
6		フォームの作成方法 フォームの機能、レイアウトの変更方法について学ぶ		8	前期中間 試験	
7		レポートの作成方法 レポートの機能、レイアウトの変更方法について学ぶ		7		
8		データベースのまとめ1 クエリの抽出方法の応用を学習後、実際の検定問題に取り組む		6		
9		データベースのまとめ2 検定に向けて実際の検定問題の反復練習を行う		7	前期期末 試験	
10		PowerPointの基礎知識や、基本操作について学ぶ 実際にPowerPointで簡単なスライドを作成しつつ学習を行う		9		Access 検定試験 実施
11		文字入力とレイアウトの調整、画像を挿入など細かい機能を使用し、 スライドを作成する		8		
12		アニメーション効果、画面切り替えの効果などの機能を使用し、 スライドを作成する		5	後期中間 試験	
1		学習してきたPowerPointの機能を使用し、実際の検定問題の 通りにスライドを作成する		5	後期期末 試験	
2						Power Point 検定試験 実施
3						

《留意事項》

授業は検定試験にあわせたプリントを作成し、行なう

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	普通科		コース	総 合 技 術 科		学年・年次	2年生	
科目名	コンピュータシステム技術	単位数	2	教科書	栢木先生のITパスポート教室	出版社	技術評論社	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				70h		
4	18～ 25	・情報に関する理論 ・接頭語 ・文字コード ・コンピュータの構成とCPU				4		
5	26～ 45	・主記憶と補助記憶 ・半導体メモリ ※パソコンを分解し、実際に個々のハードウェアを確認する ・入出力装置 ・入出力インターフェース				7		
6	46～ 66	・AI ・確率と統計 ・基数変換				7	前期中 間	
7	68～ 81	・ソフトウェアとOS・OSS ・ファイル管理 ・バックアップ				6		
8	82～ 108	・表計算 ・ユーザーインターフェース ・マルチメディア				4		
9	110～ 127	・コンピュータの処理形態と利用形態 ・システム構成 ・システムの信頼性				5	前期期 末	
10	128～ 144	・システムの評価 ・IoTシステムと組み込みシステム ・ソリューションビジネスとシステム活用促進				8		
11	146～ 161	・ネットワークの構成 ・無線LAN ・通信プロトコル ※LANケーブルを作成し、小規模ネットワークを作成する				8		
12	162～ 171	・ネットワーク実習(LANケーブルを作成し、小規模ネットワークを作成する) ・インターネットの仕組み				5	後期中	
1	172～ 184	・通信サービス ・Webページ、電子メール				6		
2	186～ 201	・情報資産と脅威 ・サイバー攻撃				7	学年末	
3	202～ 211	・情報セキュリティマネジメント ・リスクマネジメント				3		

《留意事項》

令和8年度年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	札幌科学技術専門学校高等課程							
学 科	総合技術科		コース			学年・年次	3年	
科目名	コンピュータシステム技術	単位数	2	教科書	栢木先生のITパスポート教室	出版社	技術評論社	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				70h		
4	186～188 202～205	情報セキュリティ：情報セキュリティの3要素、情報資産の脅威、情報資産の脆弱性 情報セキュリティ組織・機関、PDCAサイクル				5		
5	188～201 212～223	・情報セキュリティ：ユーザ認証、アクセス管理、マルウェア、サイバー攻撃、セキュリティ技術				8		
6	224～238	・情報セキュリティ：暗号化技術、デジタル署名				10	6/9～ 6/12	前期中間
	240～263	・データベース：関係データベース、主キーと外部キー、データの正規化、抽出と論理演算						
7	264～274	・データベース：整列と集計、トランザクション処理				8		
	プリント	・ITパスポート国家試験問題演習						
8	220～221	・アルゴリズムとプログラミング：フローチャート、構造化プログラミング ※フローチャートの書き方を具体的に学ばせ、変数の変化をトレースする。				4		
9	276～304	・アルゴリズムとプログラミング：データ構造、プログラム言語の特徴				7	9/8～ 9/11	前期期末
	306～329	・システム開発：SLCPと調達、開発プロセス、テストと運用・保守、開発技法						
10	338～347	・システム開発：工程管理(アローダイアグラムとアローダイアグラム)、システム監査				9		
	362～381	・企業活動と法務：企業会計(財務諸表、貸借対照表、損益計算書、損益分岐点分析)						
11	382～401	・企業活動と法務：知的財産権、労働関係法規、情報関連法規、QC				9		
12	424～428	・経営戦略とシステム戦略：経営組織の形態、人事と教育				6	12/1～ 12/4	後期中間
	プリント	・ITパスポート国家試験問題演習						
1	プリント	・ITパスポート国家試験問題演習 ・1年間の振り返り				4	1/26～ 1/29	卒業試験
2								
3								

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属		札幌科学技術専門学校高等課程													
学 科		総合技術科		コース		学年・年次		3年							
科目名		地球環境化学		単位数		2		教科書		地域からつくるあしたの地球環境		出版社		実教出版	
月	指 導 内 容										指導時数	試 験	備 考		
	ページ	項 目・内 容												70h	
4	36～37	エネルギーの大量消費 エネルギー使用量とライフスタイルの関連について。										6			
5	38～41	代替エネルギー 戦争は最大の環境破壊 再生可能エネルギー、持続可能な循環型社会について。 イラク戦争、劣化ウラン弾やクラスター爆弾による被害について。										8			
6	42～45	くらしの中の有害物質 大気の汚染 化学物質の功績、化学物質の人体への影響について。 大気汚染と公害について。										8			
7	46～49	しのびよる水の危機 土からみる地球環境 限りある水の世界的な危機について。 土壌の役割と土壌汚染の原因物質について。										7			
8	50～51	環境アセスメントと環境保護運動 環境アセスメント制度の成り立ちと問題点について考えさせる。										5			
9	52～53	エコ製品・エコ技術 エコ製品とエコ技術とが、企業の社会的責任と関連していることについて。										7			
10	54～57	地域の自然と土地利用 地域の自然と農林水産業・地場産業 地形は地域の自然の基盤であることについて。 経済効率と農林水産業・地場産業について。										10			
11	58～61	変化してきた地球環境 自然災害と防災 地球と生物の歴史を学ぶ。 地震や火山活動について学ぶ。										9			
12	62～63	生物の多様性と保護 生活のための生物利用と商業利用について学ぶ。										5			
1	64～65	環境問題は克服できる モエレ沼公園はゴミの埋め立て地であること、マイバック運動等身近な事から、 環境問題について意見を出し合う。										5			
2															
3															

《留意事項》